

第3次 東近江市地域福祉活動計画

「東近江市地域福祉活動計画」は、東近江市に暮らす高齢者や障がい者、子どもをはじめ、すべての住民が支え合い、安心して暮らし続けることができる『福祉のまちづくり』を進めていくための計画です。

「地区住民福祉活動計画」「地域福祉推進計画」「基盤強化計画」の3つの計画で構成しています。

地区住民福祉活動計画

住民がすすめる福祉のまちづくりの目標であり、活動していくための計画。

市内14地区でそれぞれに、福祉活動やまちづくりに携わる住民のみなさんと策定。

住民の「こんな地域にしたい」という思いや、「地域らしさ」をカタチにしたもの。

地域福祉推進計画

東近江市社会福祉協議会が住民や様々な団体・関係機関とともに、市域で地域福祉活動を推進していくための計画。

スローガン

つながりと地域愛でつくる
ふだんのくらしのしあわせ

目標① ふだんのくらしの場で一人ひとりが
誰かとつながれる機会や場づくり

目標② 困っている人をほっとかない
支え合える地域づくり

目標③ 一人ひとりを知り、理解し合うための福祉共育

目標④ 困りごとの解決に向けたネットワークの構築

目標⑤ 命と暮らしを支える社協の相談支援体制の強化

目標⑥ 福祉のまちづくりをひろげる情報発信

目標⑦ 福祉のまちづくりを推進するためのサポート

基盤強化計画

地域福祉を推進するために必要な、東近江市社会福祉協議会の組織や体制のあり方を示し、その基盤の強化をすすめるための計画。

《御園地区住民福祉活動計画》

策定：御園地区住民福祉推進会議

編集・発行：社会福祉法人 東近江市社会福祉協議会

(Tel 0748-20-0555 IP 0505-801-1125 Fax 0748-20-0535)

第3次 御園地区住民福祉活動計画

ふるさと御園めぐもりプラン

令和4年度～令和8年度



御園地区住民福祉推進会議
社会福祉法人 東近江市社会福祉協議会

みんなの“しあわせ” その手でつながり のばそう御園の支え合い

この計画は、まちづくり協議会が調査された「全住民アンケート」や、「民生委員・児童委員との懇談」、「高齢者・障がい児者・児童と関わる専門職との懇談」などの声をもとに、「御園地区住民福祉推進会議」で話し合いを重ね、策定しました。

見守りや支え合いの気持ちを地域に広げ、みんなが活躍できる、つながりのある御園を目指して、住民や医療・福祉専門職、各種団体、商店等のみなさんが手をつないで、計画の推進に取り組んでいきましょう！

福祉のまちづくりを進めるために聞いた 御園地区住民の声や思い

- 命のバトンの情報が更新できているかわからない。
- 更新するきっかけがあるといいな。

- 近所付き合いや、集う機会がない地域がある。
- 自治会未加入の人が増えてきた。
- 地域の“役”の成り手（担い手）がいない。
- 災害時の避難行動要支援者、誰が支えるのだろうか。
- 避難行動要支援者のことも含め、自治会内での見守りのネットワークが必要。
- 隣近所のちょっとした見守りが必要。

- 障がい児者や、外国籍の方との付き合い方がわからない。
- 認知症の方に出会ったときの接し方や声のかけ方がわからない。

- 子育てをしている保護者同士のつながりがない。
- 子育てのことを相談できる人や場がない。
- 学童がいっぱいで、放課後行き場のない子どもたちがいる。
- 子どもたちが遊べる場がない。

- 8050問題が、御園地区でも増えてきているように感じる。
- 免許を返納してしまうと、どこにも行けなくなり閉じこもってしまう。
- 生活に困窮しておられる方や、障がいのある方の働き先がない。
- 身近に相談（子育てや介護など）できる場がない。
- 地域住民と医療福祉の施設や専門職が関わる機会が少ない。



住民の声や思いをもとに考えた 御園の福祉を良くする 3つの目標

☆見守り・支え合いの気持ちを広げ、安心して暮らせるまちにしよう！

- 町単位で、見守り会議の場を拡げていこう
- お互いさんの気持ちで、暮らしの困りごとを支え合える人を増やしていこう
- 外国の方の文化や言葉を知り、お互いに声をかけあえるようになろう
- 命のバトンを定期的に更新し、いざというときに備えよう



見守り会議

☆つながるきっかけづくりで、みんながイキイキできる地域に！

- 子どもたちや子育て世代の親が、気軽に集まれる場をつくろう
- 住民が、福祉施設や福祉専門職と交流できる機会をつくろう
- 元気なお年寄りが、外に出て行ける機会や場をつくろう
- 趣味やテーマで、楽しく集まれる機会を増やそう
(例) おすそわけ野菜市、郷土料理を教えてもらえる場
- ちょっとした「困った」や、自分の「こんなことやってみたい」が気軽に言える、相談できる場所づくり



おすそわけ野菜市

☆自分や相手にやさしくなれる情報を発信しよう！

- 認知症の方への接し方や、理解を広げよう
- 子育て世代が、お孫さんへの接し方を学べる機会をもとう
- その他、福祉に関する情報をどんどん発信しよう
(例) 民生委員の役割、介護保険制度のしくみ、障がい児者の理解



福祉に関する情報

3つの目標に取り組むことで 5年後こんな御園になっているといいな

- 御園に住む赤ちゃんが「健やか」に育つまち
- 子どもたちが「夢や希望」を持って、挑戦・活躍できるまち
- 若者が「ふるさと」として、御園に「自信」と「想い」を持てるまち
- 中年層が御園の良いところを「未来に紡ぐ」意識を大切にできるまち
- 高齢者が、いつまでも「元気」で「いきがい」を持てるまち
- 住民みんなが「見守り・支え合い」、共に喜びを「分かち合い」、お互いを「認め合える」つながりとぬくもりのあるまちを目指します。

「ふるさと御園ぬくもりプラン」は、住民が地区の福祉を進めるための目標であり、スローガンでもあります。みんなの「こんな御園にしたい」という声や思いをもとに策定しました。

10年前の第1次計画、5年前の第2次計画と、様々な活動を通して、福祉のまちづくりに取り組んできました。この先5年も、みんなが「住んでいて良かった」と、ふだんの、くらしの、しあわせが実感できるまちを目指して、御園の福祉を盛り上げていきましょう！

※本計画は、第2次御園地区まちづくり計画（2021～2030年度）と連携を図りながら進めていきます。